

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

共用の自動車および自転車を提供！

マルチモード・シェアリング

(自動車 & 自転車の共同利用) 社会実験の実施

横浜国立大学の交通と都市研究室では、中村文彦 理事・副学長（同研究室代表）指導の下、横浜市磯子区洋光台地区において、自動車および自転車の共同利用の社会実験（以下、「本実験」という）を実施いたします。本実験は、文部科学省の「革新的イノベーション創出（COI）プログラム」として採択された、本学の「交通対応型 ICT プラットフォームに基づく都市のリデザイン拠点」研究において、郊外住宅地における今後の交通のあり方を提案していく活動の一環として行うものです。

本実験の概要

期間 : 2015 年 11 月 16 日(月) ~ 12 月 18 日(金)

場所 : 横浜市磯子区洋光台地区 (図1)

実施主体 : 横浜国立大学 交通と都市研究室

責任者 : 横浜国立大学 理事・副学長 中村 文彦 (交通と都市研究室 代表)

協力機関 : 独立行政法人都市再生機構、日産自動車株式会社 (株式会社日産カーレンタルソリューション)、富士通交通・道路データサービス、ドコモ・システムズ株式会社、MS 横浜株式会社



図1 洋光台地区における共同利用車両のステーションの位置 (Googlemap より作成)

本実験の目的、内容、期待される効果

本実験では、集合住宅の居住者向けに共用の自動車および自転車を提供し、自宅から鉄道駅までのアクセスや近所への買物など、大都市の郊外住宅地における地区内移動のための新たな交通手段として利用していただくことをねらいとしています。実験前および実験期間中における被験者の活動、交通行動、意識に関するデータを取得、分析することで、集合住宅における複数交通手段（自動車と自転車）の共同利用がもたらすインパクトを評価することが目的です。

UR 都市機構の協力の下、洋光台北団地の居住者の方々に本実験への参加を募り、車両を共同利用していただきます。洋光台北団地の敷地内のステーションに、乗用車を3台、電動アシスト付！き自転車を5台設置します（図2）。乗用車は電気自動車、コンパクトカー、軽自動車の3台で、居住者の方々の利用目的に合わせて車両を選んでいただけます。これらの車両は、事前に本実験への参加登録をした被験者のみが利用可能で、利用の回数や時間によらず料金は無料です。



図2 洋光台北団地敷地内の車両の設置イメージ

本実験により、大都市郊外の集合住宅地におけるシェアリング型交通サービスへの需要の実態が明らかになり、高齢者や小さな子供連れなど交通弱者の移動支援や外出促進の可能性を実証的に評価することで、今後の交通計画や都市計画の基礎知見となります。

本件に関するお問い合わせ先：

横浜国立大学 交通と都市研究室

(担当) ^{ありよし}有吉 ^{りょう}亮 (横浜国立大学 産学連携研究員)

^{くまがい}熊谷 ^{なおゆき}直之 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府
博士課程前期2年)

電話：045-339-4039 Email：kumagai-naoyuki-hd@ynu.jp